

2026_0224 「3月3日の皆既月食中の恒星食」 日々の理科 4216号
お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

2026年3月3日、日没後の東京で皆既月食が起こります。この夜は、赤銅色に染まった月がゆっくりと地球の影に包まれていきますが、さらに注目すべき現象があります。それが恒星食（えんぺい）です。月が背後の恒星を隠す現象で、皆既中だからこそ観測しやすくなります。掲載の画像は、その様子を示したシミュレーションです。

今回、月に隠されるのは、しし座58番星（Leo58）、明るさは5.9等です。肉眼で見るのは難しい明るさですが、双眼鏡があれば十分観望可能です。19時15分33秒、東京では部分月食が進む中、月の影側からこの星がずっと消えていきます。明るい満月の縁ではなく、暗くなった側で起こるため、比較の見やすい条件です。

そして20時22分00秒、皆既中の赤い月の縁から、星が再び姿を現します。明るさは天王星とほぼ同じであり、適切な露出設定を行えば写真にも写るでしょう。皆既月食という壮大な天文現象の中で、恒星が月に隠れ、そして再び現れる瞬間は、宇宙の立体的な動きを実感させてくれる貴重な機会です。双眼鏡を手に、ぜひその瞬間を見届けてみてください。

